

議員出前講座 児童感想



《前津江小学校》
平成25年12月12日(木)

派遣議員：桜木博 議員、井上伸史 議員

・これまで税金というものは種類なんてないと思っていました。でも議員さんの話を聞くと、県税や地方交付税、県債に使う金額が入っているんだなと思いました。

・絵や写真、図を使ってわかりやすく説明してくれて、政治のことがわかりました。



・議員定数は人口に応じて決めていることがわかりました。

・定例会をやっていない月や休日も、県民の願いを実現するために、その地域の人意見などを聞いていることがわかりました。日々、ぼくたちの幸せな暮らしのために一生けん命働いていることがわかりました。

・市、県、国会の話の内容はちがうことがわかりました。それぞれの問題を解決してくれる議員さんは、大切な存在だなあと思いました。

・小学生一人に(税金が)98万円もかけてくれているので、これからも教科書、ノートなども大切に使い、未来の日本を担えるようにがんばりたいです。

・特に心に残ったのは、県の職員が4千八百人いることです。たぶん県の職員も、議員さんと同じように、みんなの願いをかなえるために、一生けん命働いているんだろうと考えました。



・(議員は)予算のことや(県の)仕事のことを、会議をしない月でも考えたり相談したりしているということがわかりました。

・議員の人たちは、いろいろな委員会があって、それに分かれて入っていることがわかりました。その委員会は、仕事を分担して専門的に調べて議会の仕事にいかしていることもわかりました。



・知事は議員さんたちが決めていると思っていました。でも実際は、選挙で選んでいることがわかりました。

・ニュースで県議会や国会の放送を見てもよく分からず聞き流していました。でも出前講座で話を聞き、これからは聞きのがさないようにしたいと思いました。

・一番おどろいたのが、外国に住んでいる日本人、日本在住の外国人だれでも、請願書・陳情書が書けるという事です。